

**令和5年度第1回小牧市児童館運営委員会  
会議録**

<b>日 時</b>	令和5年7月21日（金）午前10時30分～午前12時00分
<b>場 所</b>	まなび創造館 研修室1・2（ラピオ5階）
<b>出席者</b>	<p>【委員】9名（※敬称略） 植松 浩二郎、中野 江美子、富嶋 恵子、長谷川 留美子、早稲田 明美、 田中 昌代、高嶋 利那、倉知 日出美、小島 恵子</p> <p>【事務局】14名 こども未来部長、こども未来部次長、指導保育士、多世代交流プラザ所長、多 世代交流プラザ事業推進係長、多世代交流プラザ児童館担当、こまきこども未 来館副館長、味岡児童館長、篠岡児童館長、小牧児童館長、小牧南児童館長、 北里児童館長、西部児童館長、大城児童館長</p>
<b>会議内容</b>	<p>1 こども未来部長あいさつ</p> <p>2 議事 （1）令和4年度児童館・子育て支援室実績報告について （2）令和5年度小牧市児童館指定管理者モニタリングについて</p> <p>3 その他 ・こまキッズフェスタ2023 ・第2回児童館運営委員会</p>
<b>事務局</b>	<p>本日はお忙しいところ、会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、「令和5年度 第1回小牧市児童館運営委員会」を開催します。司会を務めさせていただきます。多世代交流プラザの恒川と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>はじめに、4月1日付けの関係組織の人事異動に伴いまして、委員の変更がありましたので、お名前をご紹介させていただきます。お手元の「令和5年度小牧市児童館運営委員会名簿」をご覧ください。</p> <p>沖本 喜久江委員が退任され、倉知 日出美委員に承諾いただきました。水野 圭一委員が退任され、田中 昌代委員に承諾いただきました。花山 佳世委員が退任され、高嶋 利那委員に承諾いただきました。</p> <p>続きまして、会議の定足数に関してのご報告でございます。小牧市児童館の管理に関する規則第14条第2項で過半数5名の出席が必要とされておりますが、本日は9名の委員に出席をいただいております。会議は成立しております。</p> <p>また、この会議は公開となっておりますが、傍聴者は0名でございます。では、最初にこども未来部長の川尻よりご挨拶を申し上げます。</p>
<b>こども未来部長</b>	<p>こども未来部長の川尻と申します。よろしくお願いたします。本日は、ご多忙の中、第1回の児童館運営委員会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、皆様方には日頃より、本誌の児童福祉行政の推進に格別のご支援・ご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。</p> <p>さて、長らく行動の制限を強いられてきました、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、5月8日以降、コロナ前の賑わいを取り戻しつつあります。</p> <p>昨年度は、コロナ禍における運営であり、まだまだ、各児童館で思うように</p>

	<p>取り組めなかったことも多々あったかと思いますが、そういった中でも、各児童館におきまして、しっかりと感染対策を図りながら、「今できることは何か」、知恵を絞りながら各種行事に取り組めたのではないかと考えております。</p> <p>本日は、議題としまして、昨年度の各児童館の実績報告とモニタリング結果を受けての評価についてご議論をいただきたいと考えており、その取り組みについて評価をお願いすることになります。</p> <p>委員の皆様方には、忌憚のないご意見をいただき、今後の事業に反映していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、議事に入ります前に、本日初めてご出席される方もお見えになりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。資料の委員名簿をご覧くださいまして、植松委員長より順番に時計回りで紹介をしていただければと思います。</p>
	委員自己紹介
事務局	<p>ありがとうございました。本日、中島委員がご都合によりご欠席と伺っております。次、事務局の自己紹介をさせていただきたいと思います。こども未来部次長から順番にお願いします。</p>
	事務局自己紹介
事務局	<p>ありがとうございました。それでは議事に移りたいと思います。ここからの進行につきましては、規則第14条第2項で「委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。」ことが規定されていますので、植松委員長よりお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、議事に入りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、次第2の(1)令和4年度児童館・子育て支援室実績報告について事務局の説明をお願いいたします。</p>
事業推進係長	<p>それでは、まず始めに、私の方から令和4年度の児童館利用実績について説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>令和4年度につきましては、コロナ禍に伴う制限が継続する中、それでも子ども達の居場所として、各児童館において感染予防対策を行いつつ、イベントや講座などの取り組みの幅を少しずつ広げていった結果、利用者は全館において、前年よりも増となっております。</p> <p>今後につきましては、コロナに伴う制限が5月に解除されたところではありますが、一部ではコロナの感染拡大について懸念されていることでもありますので、児童の安全・安心に十分に配慮しながら、積極的な児童との関わりや地域等との連携を図りながら学校や家庭以外の居場所として、多くの子どもに利用してもらえるよう努めていきたいと考えております。</p>
こども未来館副館長	<p>令和4年度子育て支援室利用実績報告書について説明をさせていただきます。お手元の資料の1-2をご覧ください。こども未来館子育て世代包括支援センターの状況です。自由来所の親子は前年度と比べ130パーセント(増)、</p>

	<p>育児相談が150パーセント（増）となっております。相談内容としては、母親だけではなく、父からの相談・祖母からの相談というのも増えてきています。関係機関との連携を図りながら関わっています。また、父親の利用というのも増えていきます。続きまして、令和4年度児童館行事活動報告について説明させていただきます。お手元の資料の2-1をご覧ください。</p> <p>こども未来館では、「また、来たくなる未来館～未来リテラシーを育む～」ということを目指して参りました。平日の利用は、市外の方が多いたのですが、午前中は乳幼児の親子利用が大変多いです。こちらの方はお父さんの利用も増えております。ホームページ等の情報を得て、「これをやりたい！」と目的をもって見える方も増えてきています。また、こども達が自分達で計画し、実行していく催しとして、【こどもスタッフ会議】というのを参っておりますが、令和4年度は、夏祭り、お化け屋敷、こまキッズフェスタにも参加、スタンプラリー、工作コーナー等、こども達が自分達で計画し、実行することができました。</p> <p>中高生ボランティアということで中高生のこども達ですが、情報Weekの方で親子と触れ合うことができました。</p> <p>自由工作の方ですが、小学生と未就学のこどもさんが「やりたい！」とこの気持ちが満足できるようなものを計画し、提供できるように工夫をしてきました。「こどもの居場所」というところですが、不登校のこどもや、服装が派手でなかなか入っていけないこども達が、午前中に交流広場を利用する大人達の間に入りながら関わりが持てるように繋げたり、そのこども達のやりたいことを関わりの中から引き出し、一緒に「リクエストデー」ということで、音楽を流して一緒に楽しむ、そういった活動を行うこともできました。以上です。</p>
<p>味岡児童館 館長</p>	<p>味岡児童館は令和4年度の「みんなでつくろう！ぱるもあじおか～児童館を楽しもう～」ということを目指して掲げ、こども達の声や力を発揮できる活動をまた体験活動に幅を広げるように地域の方とも協力しながら運営を行い、どの世代にとってもなじみのある場所、居場所となるよう取り組んだ一年でした。令和4年度もコロナ禍の影響で開館時間や人数制限を設けることもありました。withコロナの生活に、こども達が友達同士連れだって来館者し、仲間と一緒に楽しめるようにすることができるようにと、私達も館内の配慮をしてきました。</p> <p>0～3歳を対象とした支援室においては、それまで交流を控えていた親子の利用が増えてきて、中にはコロナ禍の中での孤独感を募らせていたことから涙を流したり、他を知らないだけに「わたしだけ？」「この子だけ？」というような疑問を抱えながら、日々を過ごし、不安を募らせていたというところで、コロナ禍の影響を知ることもできました。そのような時に支援室があることがお母さんたちの大きな励みになったり、支援員の寄り添いの大切さを実感したということもありました。</p>

子育て中の方に向け、毎月子育て支援の講座というものを行っておりますが、「サロン」というような育児中のお母さん同士が集まって、情報の共有だとか職員を含めてお話をするというところにニーズが大きかったような気がします。また、子ども達の中には、友達と過ごしたいという気持ちで職員に交流を求めてくる子が多くいました。

そういった時には、アナログゲームやドッジボールのような集団遊びなどを通して仲間づくりに励みました。また、子ども達から「こども企画」というのを書面で提出していただいて、検討のうえ、企画が実施できる場合には子どもと共に実施をしていく取り組みを行いました。

8月には、「ぱるもあやしき」という肝試し、1月には「ドッジボール大会」を準備から反省会まで、すべて子どもが中心となって行事を開催しました。こういった時の子ども達の緊張感と責任感を持って運営に臨む姿が輝かしかった1年です。

この1年、こうした子ども達の参画の取り組みには力を入れてきました。子ども達には「利用者」ということだけでなく、主体性をもって関わっていき、児童館を作っていくというところでは、環境作りの「ぱるもあ DASH」を毎月行い、子ども達に児童館というのを慣れ親しんでいただき、もっと身近に感じていただくような取り組みをしてきました。

中高生に対して、居場所作りの取り組みとして、週に1回開館時間を延長して、開催をしてきた「アオハルナイト」というものがあります。こういった名称や行事についても中高生の方にアンケートを取り、実施してきました。1年間様子を見てきましたが、友達と一緒に交流することが多いです。ただ、中には受験のひと休憩ということで、職員と話をしたりピアノを弾いたりトリフレッシュをする姿が見られました。そういった中から、卓球大会をやりたいというような申し出もあったので、初めて中高生のみ卓球大会を行い、行事を通して、知らない人同士の交流ができるというようなことができました。少し先をいく先輩達との時間の共有ということでアルバイトの大学生の方と交流をしたり、地域の方と一緒に筆を使った絵文字を書いたりというようなことで、現在もその時間は継続しています。

味岡児童館は、開館から2023年の1月に10周年を迎え、児童館については、支えるサポーター達が多くいらっしゃって、共に10周年をお祝いしました。恒例の餅つきを実施し、10月にはサポーター主催の郷土料理作りを行うことで、コロナ禍の中でも地域の方には児童館のことを気にかけていただき、一緒に活動を行ってきました。

4年度は、JA味岡支店と一緒に「さつまいも栽培」を行うことができ、少しずつ地域との関係も広がっているような実感もありました。

3月に初めて「館まつり」を行いました。中学生の有志や父母クラブの方にも協力していただき、子ども達もそういった姿を見て、「自分も手伝いたい」

	<p>という意見もありましたので、令和5年度についてはそういった声を反映させていきたいと思ひます。</p> <p>児童館の利用人数については、資料1-2に示させていただいております。また、支援室の利用人数については資料2-2を参考にさせていただければと思ひます。</p>
<p><b>篠岡児童館 長</b></p>	<p>篠岡児童館は令和4年度も「児童館であそぼう・楽しもう」「地域と共に育ち合う児童館」ということを大切に運営しました。</p> <p>令和4年度も引き続きコロナの感染症対策を講じながらの運営となりましたが、状況を見ながら児童館の利用人数、講座の定員の枠を広げ、児童館のこまめな消毒が安心だと利用者さんも増えました。行事も3年振りに児童館まつりを開催することができました。コロナの感染拡大を鑑み、館庭のみの開催でしたが、子ども達の笑顔を想像しながらゲームや工作コーナーを準備し、地域の方の親子マルシェもあり、600名程の幼児親子、小・中学生に楽しんでいただきました。地域のおやじの会の方々、近隣中学のジュニア奉仕団のサポートが素晴らしく、お祭りを大いに盛り上げてくださいました。コロナ禍で人との関わりが少なくなっていた中で温かい交流ができたことは、どの年齢の子ども達にとっても大人にとってもとても良い機会となったと思ひます。</p> <p>篠岡地区は子どもの人数が減少してきて児童館の利用人数も他館と比べると少ないですが、少ないからこそつながりを大切にしています。日々の児童館で、友達同士の利用も多いですが、小・中学生がふらっと一人で遊びに来た時でも「楽しかった!」「児童館へ行って良かった!」と感じてもらえるよう、子ども達の様子を見ながら職員が関わり・つながりを持ったり、あそびを通して子ども達同士がつながるようにサポートしています。令和4年度は砂場のおもちゃを充実したことで、砂遊びをする子ども達が増えました。大きな山を作ったり、溝を作り水を流す子がいると、知らない子でも一緒になって目をキラキラさせ笑顔になります。楽しいあそびを共有することで、自然と生まれるつながりを今後も大切にしたいと思ひます。</p> <p>子育て支援室でも、保護者の方が気軽に利用し、何でも話せる居場所となるようアットホームな雰囲気を中心掛けています。子どもの成長と一緒に喜び、ママ達の心に寄り添うことを大切にすることで、不安や悩みも話していただき、支援員といろいろと話さず中で育児のヒントを見つけ育児力を身に付け、育児の楽しさを感じて欲しいと考えています。また、支援員だけでなくママ同士が話すことで、より共感できることがあるので、ママ同士の交流の場、ママ同士がつながることも大切にしています。支援員は毎月研修を重ね、一人ひとりに合った支援を心掛けています。</p> <p>令和4年度の課題として、中・高生も集える場所を挙げました。コロナ禍</p>

	<p>で消毒の難しいカードゲーム等の貸し出しを中止していたり、中・高生が楽しめるものがあまりなかったことは、やはりその要因で、貸し出しの規制を戻していくと少しずつ中・高生の利用が増えました。</p> <p>今後の課題として、中・高生にとって更に集いたくなる場所、また、孤立しがちな0歳児とそのママの利用が増えるよう取り組んでいきたいと思います。</p>
<p>小牧児童館 館長</p>	<p>児童館・支援室利用実績につきましては資料1-1、1-2を、行事に関しては資料2-7をご覧ください。令和4年度は重点目標として「いろいろな遊びや体験を通して友達との輪を広げる」を目標に掲げ、運営時に心がけました。</p> <p>令和4年度はコロナの影響がありましたが、少しずつ制限が緩和されたこともあり、徐々に利用される方は増加しました。特に小学生の来館が増加し、令和3年度と比較すると2倍近くの増加となっています。中学生、高校生に関しては近隣に未来館や図書館など、Wi-Fi設備や環境が整った施設があるため利用はあまり増えていません。集団指導に関して「体力増進」が増えていません。児童館の中でボールの使用をできるようにしたため、ドッチボールや天下などスポーツを通して異年齢の子ども同士や違う学校の子と職員を含め、体を動かして遊ぶ事が増えてきました。</p> <p>令和4年度の取り組みとしましては子どもの声を聴くという事を全職員で取り組みました。職員が子どもと関わり、遊びの中で子どものつぶやきを聞き洩らさないようにし、行事も子ども達が自分で企画し、作りあげる事ができました。一番大きな取り組みとしては夏休みに小牧小学校と小牧原小学校にボランティア募集の手紙を配布していただき、ボランティアを募り1ヶ月半かけてお化け屋敷を作り上げました。子ども達は出来上がった達成感を感じ、当日も進行等本当にすばらしくやり遂げてくれました。子どもの成長が感じることができ、とても嬉しかったです。また令和4年度は児童館以外でのアウトリーチ活動にも取り組みました。小牧小学校区地域協議会では3世代交流会を児童館発信で開催したり、近隣のお祭りに参加したり、外での活動にも多く参加しました。地域に向くことで地域に小牧児童館を知っていただき、地域の方と信頼関係を築くことができました。</p> <p>また中高生の居場所作りの取り組みとして月2回中高生タイムを開催しました。こちらはなかなか浸透せず、待つばかりの日々でしたが令和5年度に入りやっと毎回参加者が来てくれるようになりました。会話の中で送り出すときに「またおいでね。」と声をかけるのですが「『また来ていいよ。』と言ってくれたからきた。」と言ってくれる子もいるので会話する事の必要性を感じています。令和5年度に入り5月よりコロナが5類になり来館される方は増加しています。増加の中で安心安全を軸とし、児童館が地域の人の中で本当に必要な居場所であるように活動をしていきたいと思います。</p>
<p>大城児童</p>	<p>数字の部分については1-1、1-2を見ていただきながら、資料2-4につい</p>

館長

てご説明させていただきます。重点目標を「楽しさのシェアリング」ということで館内利用者の方、地域の方、互いに楽しさが分かち合えるような企画を年間を通して組んで運営して参りました。

コロナの規制の中でどのように運営をしていくのか、計画通りに行かなかったこともあります。地域運営を掲げておりますけれども、地域の方と一緒にやれるいつものイベントはなんとか実施できました。夏祭りと餅つきは残念ながらコロナで中止にいたしました。

6月は、父母クラブを立ち上げてすぐに人形劇が開催し、いろんな交流を味わうことができしております。そのような中で東部地区はシルバー化が進んでいまして、そういった中で市の組織として、東部まちづくり推進室が立ち上がっておりますが、そのセクションと児童館も一緒に共催型で12月にこどもマルシェを開催しました。児童館祭りの少し違うバージョンというような規模で行いましたが、新しい様々なまちづくりに加わりたいお母さん方や、子育てしながら街づくりをしたい方々、年配の方々に昔から桃花台を作ってきた方々もいらっしやって、「多世代で一緒にやれることをやろうね。」というようなこどもマルシェになりました。

特徴は子ども達だけのブースを作って、自分達の不用品なども持って来て、あえて「現金売買」ということにしました。地域マネーや電子マネーが世の中的にはあるのですけれども、子ども達のお店屋さんごっこの中で何が1番成長になるのかなというところで、「自分でお金を計算してものを売る」ということの体験を親たちが見守りながら子ども達が体験しました。

実際には出店の時に「引き算が苦手だからうちの子できるかな。」と不安な保護者もいましたが、様々なアイデアが出まして、100円均一ショップなら複雑な計算をしなくても大丈夫など、いろいろな事を考えながら出店をし、いい経験ができたという声もいただきました。

今年度もこどもマルシェは大城児童館で12月に開催しますし、東部まちづくり推進室の皆様としては違うエリアでもこどもマルシェの輪を広げていきたいと思っております。

大城児童館は前年度9月から一時預かり事業を開始しました。資料等には数字等の記載はありませんが、3月時点では結構な利用者実績となっております。さらに今年度も利用者の方が増えている状況にあります。もうひとつ、多文化共生は開館当初から謳ってございましたけれども、このところ地域の方々が地域の子供達に日本語教育とういような多文化共生を実践されてまして、児童館で土曜日の午後を利用して行っていたりします。

あと、大城児童館ができて丸14年が経ちまして、14年目のわらべ館まつりを3月に実施しまして、こちらでは親子で出店企画というのを行いました。400名を超える方に来ていただいたのと、小・中学生サポーター、地域の方々含めてのイベントを行うことができました。

西 部  
児 童 館 長

西部児童館は小牧市西部コミュニティセンターとの併設館で「ゆう友せいぶ」の愛称で地域の皆様から愛されております。立地の関係からか、市外の利用者も多く、大口、江南、岩倉、一宮といった近隣市町村からも多くの方がお見えになっております。ただ、当館は市内の他の児童館と比較すると、利用者が少ない方で、特に最近の子育て支援室は寂しい状況が続いています。支援室のレイアウトを変えたり、幼児親子向けの企画などもたくさん行っているのですが、なかなか結果に結びついていないのが残念なところです。

利用者からは「人が少なくて落ち着いて利用が出来る」と好評ですが、それに甘んじて利用者拡大をしない訳には参りません。SNS や HP 等で、積極的に情報を発信するとともに、近隣の小学校、保育園等には館便りの配布、掲示をお願いしております。また、地域の各区長さんには館便りの配布だけでなく、小牧市西部コミュニティセンター運営協議会内において、児童館の現状などの報告もさせていただいております。そのように、地域の方との連携は多く、大型イベントを始め、運営協議会をはじめとする地域の方々と様々な取り組みを行っています。

今月も地区の盆踊りがあるのですが、それに合わせ、児童館では浴衣の着付けを行ったり、祭りに児童館ブースを出して、地域の方々に楽しんでもらうなど地域のお役に立つ事が出来るような取り組みも行っております。

また、地域連携として、ジュニア奉仕団も去年から本格的にスタートし、先週から西中の子達が来館し、児童館のお手伝いをしてきています。参加の目的はそれぞれで、「職業体験で楽しかったから。」とか、「内申点が上がると聞いたから。」と素直に答えてくれる子達など、いろいろな意見がありますが、自分たちのやったことが児童館に来る他の子達の役に立っている、という実感を得られるような体験を目指しています。

昨年の行事で大変人気のあった「ドッジボール大会」というイベントがあったのですが、高学年児は低学年児に対し、「ハンデをあげるよ。」と思いきり当てないように気を遣ったりと高学年児から低学年児までが一緒になって異年齢で楽しむことが出来る良い機会となりました。それも踏まえ、以前から子どもたちの間で要望のあったボール遊びを今年度から遊戯室内で遊べるようにしました。これにより、異年齢でドッジボールをする姿も見られるようになったのですが、友達同士、大勢になると気が大きくなるのか、小さい子がいるのかかわらず、ボールを思いきり蹴ったり、ルールを守れなかったり、やんちゃな事をしだす子もいるのも事実です。自分達の事だけでなく、他人の事も「自分たちで」考えられるようになっていたり、状況に応じた対応が出来るようになると良いと思っています。

そういったやんちゃをする子達も含め、西部児童館は子どもたちからの意見表明の場がまだまだ少ないのが現状です。児童館内のルールもそうですが、子どもの意見がもっと運営に反映されるべく、意見表明ができるよう、意見箱の設



	<p>置など、形は決まっておりますが、そのような取り組みも必要だと感じているところです。これらの課題が解決され、「みんなが笑顔になれる場所」という西部児童館のスローガンに近づくことが出来るよう、今後も真摯に運営を行っていきたいと思っております。</p>
<p>北里児童館 館長</p>	<p>重点目標は、令和3年度に続き「地域の子育てや親子の子ども達が楽しめる行事を提供する。」に従いまして、昨年度は設立30周年ということで、昨年度は“設立30周年！さらなる前進のために基本をしっかり！”とし、職員一人一人が自身の行動を改めて考える1年でした。また、新型コロナウイルスが収束に向かおうとしている中で迎えた開館30周年でありましたので、私たちにできることをたくさん考えた1年でもありました。</p> <p>受付に開館30周年をアピールする掲示を行うと、支援室に来た保護者から、「私も子どものころ利用していたんです。」という声を何人もの方から聞きました。地域性もあるのか、何世代にもわたって北里地区で子育てをしている家族が多いのだなと感じています。そんな北里地区で“私たちができること”をと、地域に根付いた活動も大切に行ってきました。これまで行ってきた事はもちろん、その他にも北里小学校の放課後子ども教室への出張や昨年度は初めて北里地域協議会主催の北里 Festival へ児童館ブースとして参加をさせて頂きました。学校を始め、地域の方とたくさん関わりが持てた1年でした。今年度は昨年行った活動はもちろん、新たにつながりを持てるような働きかけを行っていきたいと思います。</p> <p>児童館利用人数の資料2-3より説明させていただきます。4月には新1年生歓迎会を毎年行っております。児童館のルールを理解してもらおうと共に、新しいお友達ができるといいなという願いも込めて開催しています。簡単なゲームをし、記念に残る工作を行っております。参加人数は多くはないですが、保護者の方も見守ってくれる中で、利用の際のお願いもできるので、今後も続けていきたい行事です。</p> <p>8月の夏祭りは縁日をテーマに、まさに夏祭り！といった雰囲気づくりに努めました。2部制にしたことにより、混雑を避けながらたくさん子どもや親子に楽しんでもらえた一日になったと思います。ジュニア奉仕団が前日までの道具や看板の用意、当日、職員の補助をしてくれたことで、準備の段階からスムーズに終えることもできました。</p> <p>夏休みの特別講座は毎年人気の講座です。例年キャンセル待ちが出るほどです。昨年度も全部で9回の講座を行いました。子どもたちの作りたい気持ちを形にする企画としては他にも毎月“手作りを楽しもう”を行っております。どの講座も普段の工作とは違う材料で作れる特別な物に子どもたちの満足度も高く感じています。</p> <p>資料にはありませんが、プランナーの企画も大成功でした。夏にはお化け屋敷、冬にはクイズを解いて答えを出す、という企画をし、クイズも出題形式も</p>

	<p>自分たちで考えました。少ない人数での活動でしたが、大きな成長を感じた1年でした。</p> <p>30周年の特別な企画として、2月に父母クラブとの共催としてダンボールフェスティバルを開催しました。10m級のダンボール迷路の他、ほかには壁や床にもダンボールを設置し、自由に絵を描くことが出来る空間を作りました。幼児さんから中学生までたくさんの子が参加し時間いっぱい、満足するまで体中を使ったお絵かきに満足そうにしていました。児童館らしい笑顔が見られたイベントでした。またぜひやりたいとの声が子どもからも保護者からも聞かれました。</p> <p>子育て支援室は年間を通して広場、誕生会の開催をしています。3月にはお楽しみ会を企画し、子どもたちが飽きない程度の時間設定の中、普段は出さないペープサートや職員の出し物を披露しました。そのあと、同年代の子どもを持つ保護者同士が様々な話題で盛り上がっていたことが印象的でした。1年を通して、父親との来館が増えているように感じています。また、館内で独立した場所であることから落ち着いてホッとできると友人に紹介してくれる方も多くいます。</p> <p>今年度、開館31年を迎え、30年の積み重ねを大切にしながら、時代とニーズに合った児童館運営をし、さらにたくさん笑顔と思い出を積み重ねていきたいと思えます。</p>
<p><b>小牧南児童館長</b></p>	<p>利用の実績、人数に関しては、資料1-1、1-2をご覧ください。活動に関しては、資料2-5をご覧ください。小牧南児童館は『ふらっとみなみ』の愛称で親しまれております。小牧市南部コミュニティセンターとの併設館で、「すべては子どもたちの為に」を合言葉を胸に運営にあたっております。</p> <p>まずは令和4年度の施設目標について申し上げます。「受け皿としての児童館～子どもの権利・子どもの声を大切に～」という目標でございます。</p> <p>児童館は子どもに関わる方すべての受け皿でなくてはならないという事を打ち出し、子どもの権利・子どもの声を大切に対応して参りました。しかし、昨年度も新型コロナウイルスの影響でイベント・行事だけでなく利用にも制限があり、利用者にはご迷惑をおかけしました。入館の定員制限のため、来館はしたものの児童館に入ることが出来なかつたり、時間区分のため短い時間しか遊べなかつたりして、いつでも・だれでも気軽に来ることの出来る「児童館としての機能」が失われてしまった事は残念でなりません。そのため入館を断らざるを得ない状況でも職員が出て事情を聴き、コミュニティセンターの一角をお借りし、塗り絵や簡単な工作を提供したり施設の本の貸出を行ったりするなど、少しでも「来て良かった」と思ってもらえるような対応を心掛けました。</p> <p>次は行事について申し上げます。</p> <p>例年ふらっとみなみ運営協議会の皆様と連携し、季節感を大切に様々な行事を行っております。</p>

	<p>夏まつりは昨年も新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。しかし子どもの声を反映して活動する「こどもプランナー」が用意した企画まで中止とするのは施設の方針に沿っていないと判断し、こどもプランナーによるミニ夏祭りを開催しました。</p> <p>11月の秋祭り(三世代交流会)は人数制限・事前予約制の中で開催しました。警察官による連れ去り防止の劇やビンゴ大会など、世代を超えた交流ができました。</p> <p>12月のクリスマス会には大道芸のコメディショーで、久しぶりに大勢のこどもたちの笑い声が戻ってきました。そのクリスマス会や各クラブ、ちびっこ広場では職員扮するサンタクロースが登場し、プレゼントをもらって喜ぶこどもたちの笑顔で溢れました。</p> <p>児童館主催の行事で人気だったのは自転車の補助輪はずし教室です。隣接する公園で行います。補助輪を外す事が目的ではなく、乗れるようになってからの交通安全の話を重点において実施しています。「参加したらすぐに自転車に乗れるようになった」とロコミで市内に広がっているようで、遠くの地域からも参加される方がいらっしゃいました。</p> <p>また令和4年10月から男性育休の取得を促進する新制度「産後パパ育休」が施行されることから、父の日のある6月より父親向け企画「パパと木工工作」、「パパと子広場」なども開始しました。</p> <p>最後に中高生の利用ですが、児童館は小学生までが利用する施設という認識が強いのか、塾や部活・習い事に忙しいのか、まだまだ居場所づくりの一端を担えていないのが実情です。</p> <p>それでも中高生にも開かれた児童館であるように資料にはありませんが、「放課後 Chill Out」を昨年に続き開催しました。コミュニティセンターの中高生応援企画「ふらみなへ行こう」の講堂開放と併せ中高生用のグループLINEを使い、施設一体となって中高生の居場所作りを行いました。利用者は少ないですが少しずつ認知度は上がっていますので、今年度も引き続き呼びかけを行って参ります。</p> <p>これからも子どもの地域の拠点としてより細やかな支援を行い、誰もが気軽に「ふらっと」立ち寄り、すべての方々が「ほっ」とひと息つける居心地の良い空間づくりを目指します。</p> <p>そして当児童館の目標でもある「全ては子どもたちの為に」という思いが職員だけでなく、保護者や地域の方々に広がっていく事、そんな社会創世の一助になればと考えております。</p>
<p><b>委員長</b></p>	<p>ただいま、令和4年度の児童館・子育て支援室の実績報告についてご説明がありました。各館コロナ禍の感染状況をみながらではありましたが、様々な苦勞をしたり、工夫をしたりということで大変多くの取り組みをしていただいたなと思います。内容の説明をしていただきましたが、本来ならもっと</p>

	<p>時間が欲しいところではありますけれども、端的に取りまとめていただきましてありがとうございます。委員の皆様、ご質問ですとかご意見、お気づきの点、分からない点等ありましたら、ご発言お願いいたします。</p>
副委員長	<p>大城児童館で9月から一時預かりを行っているのは、前から伺っているがどのような様子か。利用者も増えているとのことですが、子どもやお母さんの様子はどのようなものか。</p>
大城児童館 館長	<p>リピーターの方の利用が多い傾向にあります。今まで児童館に遊びにきていた親子が、お子さんを預けていきますので、やはり慣れた環境であることから、泣いてぐずる子は非常に少ない気がします。たまたま昨日預かっていた子が最初の1時間は泣いていましたが、慣れた環境で職員とも関係ができており、3人交代で見るが、基本マンツーマンでついている。利用時間は最大4時間まで預けられるが、4時間で預けられる方が多い。多胎児の家庭で、多胎児のうち一人を預ける方が最近出てきており、理由としては発達支援学校に通うのだけれども、一人ずつが成長していくため環境を変えた方がいいのではないかと相談を受けながらお預かりするケースもあります。</p> <p>3月、4月の頃は、保育園に入園・転園、引っ越しをするなど、いろんなケースがありますが、そういった中で「ちょっと預かってもらえる」というのが都合がよいということで、3月は急に人数が増えたりしたこともありました。</p> <p>利用目的についてはリフレッシュもありますし、兄弟の先ほどのような事情もあります。あと、病院に行くために預かってもらいたいといったこともございますが、今までの中ではリフレッシュ目的が1番多いような気がします。</p>
副委員長	<p>様子がわかりました。やはり「リフレッシュ」目的での利用者が多いことは想像つきます。でも、大事なことかなと思いますけど、双子のお子さんなど、お子さんを一人預かってもらおうとお母さんの負担はだいぶ違うのではないかなと思いました。</p> <p>ご回答いただきありがとうございます。これからも続けてください。ぜひ他の児童館さんも一時預かりを。</p>
委員長	<p>他にはよろしいでしょうか。</p>
富嶋委員	<p>質問なのですが、味岡児童館の報告の中で、「サポーター」がお見えになるということで、例えば“ジュニア奉仕団”という中学生がお手伝いに行ったりというのは考えられるが、「サポーター」というのは、いい取り組みだと思っており、どんな感じの方か、地域協議会のような母体があってサポーターを要請するのか、地域の方が協力してくださると季節感満載の催しだったり、宗教上の観点から学校の方で「年中行事」についてあまり密にできておらず、そういった取り組みを密に出来ていいなと思う。</p> <p>「サポーター」はどのような方なのか、何人ほどいるのか教えていただきたい。</p>
味岡児童	<p>「サポーター」についてですが、味岡児童館が10年前新築移転をする際に、</p>

館長	<p>どのような児童館がいいのかということで、「児童館をつくる会」というのが発足しました。その時に携わっていただいていた地域の方達を中心に、開館後もその方達が「サポーター」というグループを作って児童館の運営についても様々なご協力をいただくような形をとっております。</p> <p>最初「児童館をつくる会」が始まったころには、ご意見をいただくのに中学生や高校生もメンバーとしていましたが、当時から10年が経過し、学生たちも大人になり、地域に住んでいない方達もたくさんいます。なので、「児童館をつくる会」創設時に大人だった人達が中心となって、活動をしています。</p> <p>ただ、中には“今後児童館がどうなっていくかという情報が欲しい。”ということで、情報を得るためだけにサポーター登録をしている方もいます。</p> <p>サポーターさんは、サポーターさんの中の代表の中のとりまとめをしてくださっているので、その方を中心に情報発信したり、例えば郷土料理についての企画を立てる時もその方が中心になって情報発信をしていただきながら、活動を進めているが、今は20名ほどおり、構成としては、皆様大人の方。皆様それぞれに事情があるため、行事の際にお声がけして参加してくださるのは、10名程度。ほかには味岡小学校区を中心とした「おやじの会」とかそういった方達にもご協力いただいています。行事については、味岡中学校のジュニア奉仕団にご協力をいただくこともあるが、ジュニア奉仕団に所属していない子の活躍の場としての中高生の取り組みとしては、直接学校に募集のチラシを貼らせていただいて有志の方に手伝っていただくということで、行事についてそのような形でサポートしてもらっているような現状です。</p>
富嶋委員	<p>ご回答ありがとうございました。非常に幅広くいろんな方と関わるというか、巻き込むというか、活動に厚みがでると思いますし、児童館でいい体験をした子ども達がゆくゆくは大人になって帰ってきたときにまた「サポーター」さんのような形で続けていけるといいなと話を聞いて感じました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。</p> <p>では、端的に私から1つ2つ伺います。</p> <p>資料1-1に記載されている数字について、西部児童館の中高生の利用者数が3倍になっていますが、なにか実施したことはありますか。</p>
西部児童館長	<p>高校生の利用が極端に増えたということではなく、もともと中学生の時に利用していた子ども達が高校に進学したため、継続して利用してもらえた結果となっております。高校受験の利用者が多かったため、昨年度は合格祈願のだるまを作成し、子ども達に「合格したらだるまの目を塗りにおいでね。」といった声掛けをし、来館につなげておりました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他の館も中学生、高校生の利用が課題として同じように出てきますので、リピーターとして中高生を巻き込んでおくというのが、一つのポイントかなと思います。</p> <p>それから資料1-2の数字を見ると、小牧児童館の自由来館の人数が3倍ほど</p>

	<p>に増えておりますが、これも何か目玉的な要因があれば教えてください。</p>
小牧児童館 館長	<p>子育て支援室の自由来所の人数についてですが、コロナの関係で令和3年度は自由来所の方に対して人数制限が厳しく、子ども1人につき大人1人など厳しい規制の中、子ども達を感染の中から守るということをしておりました。令和4年度になり、少し児童館の中の規制も緩和したところで、児童館に来やすいということで、多くの方が来館してくださり、結果として子育て支援室の利用者が増えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。その他にはよろしいでしょうか。</p> <p>では、質問も出尽くしたところで、先ほども申しましたけども、コロナ禍が少しずつ改善されてくる中で各児童館本当によく工夫されているなと思えました。来館者も増加しているということですので、令和5年度も楽しみだなと思います。課題もそれぞれお持ちだと思いますので、達成に向けてさらに頑張っていたきたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>では続きまして（2）令和5年度小牧児童館指定管理者モニタリングについてに移りたいと思います。事務局説明をお願いします。</p>
事業推進係 係長	<p>令和5年度小牧市児童館指定管理者モニタリングについて説明をさせていただきますと思います。お手元の資料については、資料3-1から3-7となります。</p> <p>小牧市児童館指定管理者モニタリングについて、令和4年度より開始し、今回で2回目となりますが、改めて評価方法について説明をさせていただきます。</p> <p>次に評価シートについての説明であります。</p> <p>表紙となる1ページ目ですが、モニタリング対象として児童館名や指定管理者名等を記載するとともに、各児童館の前年度の取り組みに対する判定を総合評価欄に記載するものとしております。</p> <p>次に、1ページめくっていただきまして、2ページ以降、4ページの上段までの、「2 評価結果の内容」であります。</p> <p>ここでは、評価の項目、視点を示しており、所管課評価につきましては、私ども職員が各児童館を訪問し、現地で実際に施設の状況や書類の確認、聞き取りなどを行い、その結果を評価として記載しております。</p> <p>また、特記事項として、特筆すべき良い取り組みや明らかに改善を必要とする事項などを併せて記載し、所管課評価及び特記事項を踏まえ（1）運営業務、（2）維持管理業務、（3）サービスの質の区分ごとに評価を行い、その区分評価にいたった経緯等を記載しています。</p> <p>次に、4ページの下段、区分評価に対する運営委員会コメントではありますが、この欄につきましては、所管課が行った評価内容を、運営委員会において説明をさせていただきます。その内容及び運営委員会の中でのご意見等を記載させ</p>

ていただくこととしております。

別紙の「3 評価の基準」についてであります。①項目評価であります。この評価につきましては、所管課評価に適用するものであり、4～1の4段階で項目ごとに評価していきます。

次に、②区分評価であります。先ほどの項目ごとの評価を基にし、(1)～(3)の区分ごとに平均値を算出しA～Cの3段階で評価します。

③総合評価であります。先ほども少し説明をさせていただきましたが、1次評価の報告と児童館からの活動報告資料をもとに、必要であれば所管課に質問を行い、ご指導・助言をいただきつつ、運営委員会の中で、総合評価の基準に従って、A B Cの3段階評価をしていただきます。

「優れた取り組みが多くみられる」と判断されれば「A」、「適切に実施されている」と判断されれば「B」、多くの取り組みに対して改善を要する」と判断されれば「C」と判定していただきたいと思っております。その評価は1ページの総合評価欄に結果を記載させていただくこととしております。

以上、評価方法の説明であります。

それでは、お手元の資料3 「味岡、北里、大城、小牧南、西部、小牧、篠岡」の7つの児童館のモニタリングシートについて、事務局としての評価結果を記載させていただいておりますので、その内容について児童館毎にご説明させていただきます。

まず、味岡児童館から説明します。資料3-1をご覧ください。

1の運營業務、2の維持管理業務の状況については、職員体制や関係書類、各部屋の確認の結果、特に改善が必要と判断される項目はございませんでした。区分評価につきましては、いずれも「B」としております。

3のサービスの質についてですが、自主事業及び地域との連携について所轄評価を「4」とさせていただいており、その理由を特記事項に記載しておりますが、自主事業については中高生のみが利用できる時間帯【アオハルナイト】を開始し、勉強だけでなく運動による気分転換にもなっております。また、大学生アルバイトへ中高生利用者からの受験に対するリアルな悩み相談を行っていることについて評価しました。

地域との連携では、児童館サポーターが考えた企画案を実行し、子どもの主体性の育成に貢献できる運営ができており、また、誉高校に出向き、生徒達に自分達が使いたくなる児童館について企画立案をしてもらう場を設けることで、高校生の利用促進に向け積極的に取り組みを行っていることから、2項目について4点とし、区分評価を「A」としております。

続きまして、資料3-2北里児童館に移ります。

1運營業務の職員配置について、「開館時間中は常に各業務の責任者および

全体の責任者が明確な体制になっているか」の項目において、責任者の体制について一目でわかるよう文字・表・色を上手に使用したボードが作成されていたため、所轄評価を「4」としました。

2の維持管理業務の状況については、職員体制や関係書類、各部屋の確認の結果、特に改善が必要と判断される項目はございませんでした。

区分評価につきましては、いずれも「B」としております。

3のサービスの質につきましては、自主事業と地域との連携について所管評価を「4」とさせていただいており、その理由としまして、自主事業については、30周年企画をうまく活用し、通常よりも規模の大きいイベントを開催することで、いつも来館していただける利用者だけでなく、以前来ていた児童達の呼び込みにも成功し、児童館とのつながりを意識づけることができています。

地域との連携については、ジュニアプランナーの企画・運営協力、地域連絡協議会との連携だけでなく、児童クラブなど多方面と連携が取れており、地域に深く根ざしています。このことから、2項目について評価を4点とし、区分評価を「A」としております。

続きまして、大城児童館に移ります。資料3-3をご覧ください。

1の職員配置、2の維持管理業務の状況については、職員体制や関係書類、各部屋の確認の結果、特に改善が必要と判断される項目はございませんでした。区分評価につきましては、いずれも「B」としております。

3のサービスの質としましては、研修の実施、自主事業及び地域の連携について所管課評価を「4」としております。その理由としましては、スーパーバイザーによる職員に対するフォロー研修や、社内外の研修、愛知県主催の研修会に積極的に参加するなど、職員の資質向上に対する積極的な姿勢が伺えました。

自主事業については、一時預かり事業の開始に伴い、単なる事業の実施で完結せず、子育て支援室や子育て世代包括支援センターとの連携体制がしっかりと構築されていることもあり、相談件数の増加に至りました。

地域との連携については、わらべ館まつりやこどもマルシェなどの交流の場で、ボランティア支援者の人数が15人から25人に増加しており、地域との連携強化が伺えました。

以上のことから3項目について評価を「4」とし、区分評価を「A」としております。

続きまして、小牧南児童館に移ります。資料は3-4になります。

1の職員配置、2の維持管理業務の状況については、職員体制や関係書類、各部屋の確認の結果、特に改善が必要と判断される項目はございませんでし



	<p>た。</p> <p>3のサービスの質につきまして、自主事業と地域との連携について、所管課評価を「4」としております。その理由としましては、自主事業については、英語に触れ合う事業のスマイルイングリッシュの対象児童を子育て支援室を利用する未就園児や年長までに見直すことで、利用者促進につながっております。</p> <p>地域との連携につきましては、地域の運営協議会や小・中学校からの生徒の受入れを積極的に行ったり、企業の社会貢献活動と連携し、様々な講座を開催しました。</p> <p>このことから、2項目について評価を4点とし、区分評価を「A」としております。</p> <p>続きまして、資料3-5の西部児童館に移ります。</p> <p>1の職員配置、2の維持管理業務の状況については、職員体制や関係書類、各部屋の確認の結果、特に改善が必要と判断される項目はございませんでした。</p> <p>なお、2の維持管理業務の点検・保守に関しましては、日常点検表について、視覚的にも点検箇所がわかるよう工夫がされており、点検の漏れ防止や職員研修に役立っております。また、ヒヤリハットの案件が発生した場合には、対応策まで含めて記入がされており、全職員に共有がされていることから、所管評価を「4」とし、区分評価については、「B」としてしております。</p> <p>3のサービスの質については自主事業、地域との連携及び情報発信の3点を所管課評価「4」としており、理由としましては、自主事業につきましては6ヶ月、1歳、2歳の児童に段ボール工作をプレゼントし、次の来館のきっかけづくりを行うなどリピーターの確保に力を注いでおりました。</p> <p>地域との連携については、地域の運営協議会への参加や、三ツ渚小学校から資材提供を受けるなど、地域との連携がしっかりと取れておりました。</p> <p>情報発信については、インスタグラムを開設し、ブログと並行して児童館の情報を発信しております。また、地域の小学校や保育園へ館だよりやチラシを配布するなどによる情報提供も行っております。</p> <p>このことから、区分評価を「A」としております。</p>
	<p>続きまして、資料3-6の小牧児童館に参ります。</p> <p>1の職員配置、2の維持管理業務の状況については、職員体制や関係書類、各部屋の確認の結果、特に改善が必要と判断される項目はございませんでした。</p> <p>なお、2の維持管理業務の「安全対策」につきましては、毎朝礼時に、危機管理マニュアルを職員で読み合わせをし、緊急時の対応について新人職員も含め備えていることから、所管課評価を「4」としております。</p>

	<p>区分評価につきましては、いずれも「B」としております。</p> <p>3のサービスの質につきましては、自主事業及び地域との連携について、所管課評価を「4」とさせていただいており、その理由といたしまして、</p> <p>自主事業につきましては、子ども達自身に運動遊びの企画、運営をまかせ、自主性を育みながら楽しんでもらえる取り組みも始め、利用児童数の増加につながっております。</p> <p>地域との連携につきましては、みなくる音楽隊として児童館職員、保護者、小・中学校と連携した取り組みのほか、子ども食堂の研究や地域の保育園だけでなく小規模保育事業所とも連携を行っており、地域の一員として住民の信頼も得ております。</p> <p>このことから、2項目について評価を4点とし、区分評価を「A」としております。</p> <p>最後に、資料3-7篠岡児童館になります。</p> <p>1の職員配置、2の維持管理業務の状況については、職員体制や関係書類、各部屋の確認の結果、特に改善が必要と判断される項目はございませんでした。</p> <p>区分評価につきましては、いずれも「B」としております。</p> <p>3のサービスの質につきましては、接遇、研修の実施及び地域との連携について、所管課評価を「4」とさせていただいております。その理由としまして、接遇につきましては、支援室を目的とした利用者が来館した場合、子育て支援室の支援員に引き継ぎ、利用方法を詳しく説明し、その後一緒に館内を回りながら説明するなど、利用者と支援者の信頼関係を築きやすい環境づくりがなされております。</p> <p>研修の実施につきましては、スーパーバイザー主導のもと、支援室利用者をモデルとしたケーススタディを行うなど、有効性の高い研修を実施するとともに、職員研修や市との連絡会議で指摘された事項に対するフォロー研修を実施するなど、充実した研修体制が整えられております。</p> <p>地域との連携につきましては、篠岡小学校と連携し、地域の歴史である「篠岡百話」を大きなかるたにし、子ども達に遊びながら伝統を継承することのできる取組も行われており、地域との連携もしっかりと図られております。このことから3項目について評価を4点とし、区分評価を「A」としております。</p> <p>以上が、所管課におけるモニタリング評価の結果となります。</p> <p>よろしくご審議賜りますようお願いいたします。</p>
委員 長	<p>ありがとうございました。繰り返しになりますが、所管課が実際に足を運んで(1)、(2)、(3)の項目について確認し、それをA・B・Cと評価をした理由を説明をいただきました。</p>

	<p>今からは、1館ずつこの評価でいいかどうかを7館すべて判断していきたいと思います。</p> <p>では、事務局からも説明がありました。が、(1)と(2)については、主に維持管理、【管理】の面です。7館とも区分評価「B」ですので、何か特別気づいた点がありましたら、発言していただき、評価が妥当かどうかを検討し、特に(3)の各児童館が工夫しているサービスの内容について評価し、気づいた点等を詳しく話し合いたいと思います。</p> <p>味岡児童館から参ります。(1)、(2)について所管課はすべて「3」でよいだろうということで、評価区分は「B」ですが、これについていかがでしょうか。</p>
	(委員一同 同意)
委員長	<p>よろしいでしょうか。では、所管課の「B」評価は妥当ということで、(3)に行きたいと思います。サービスの質について何かご意見ありますでしょうか。2項目について最高の「4点」がついております。</p> <p>ちなみに、平均3.3以上になると「A」評価になります。所管課が「A」評価としておりますが、いかがでしょうか。</p>
副委員長	<p>先の実績報告にもありましたが、どこの館も中高生の利用について、いろいろ意見や工夫を出し合っていますので、この「4点」は妥当に思えます。</p>
委員長	<p>今、中野副委員長からもご指摘をいただきました中高生への利用というところで、「受験の悩み」というのは、具体的に、どういうことですか。(味岡児童館館長への質問)</p>
味岡児童館館長	<p>このケースは大学受験で、高校3年生の子が大学生に自分が行く進路について、学校が違えども大学生活はどのような様子かなど少し先を想定して相談に乗るといった様子でした。</p>
委員長	<p>高校生がそのように悩みを相談できる場所は、中々ないものですからいい取り組みだと思います。では、(3)については所管課意見と同意見と判断したいと思います。</p> <p>では2つ目北里児童館に移りたいと思います。資料3-2であります。</p> <p>では、(1)、(2)の管理面についてですが、問題なしと所管課評価ですがよろしいでしょうか。</p>
	(委員一同 同意)
委員長	<p>1点だけ質問よろしいでしょうか。</p> <p>(1)運営業務の職員配置の項目についてのところで、「一目でわかるようボードが作成されている。」と記載されているので、所管課が「これは良い」と判断したと思いますが、これは他の児童館でも役立ちそうですか。</p>
事業推進係長	<p>はい。私自身、現地を見させていただきまして、壁にボードが貼ってあるのですが、逐次日によってシフトで職員が変わるのでそれぞれ「誰が・どこに」</p>

	<p>というのを一目でわかるように、毎日ボードに本日出勤している職員の名前が「あなたはこの仕事、あなたはこの仕事」と貼られていたので、こういった事でそれぞれの職員がどのような責任を負いながら1日過ごすのかというのを分かりやすくできていたのではないかなと思います。</p> <p>こういった取り組みについては各館にも役立つものと考えています。ただ、各館が全くそういった事をやっていない訳ではありません。より見やすい状況になっていたということで評価をさせていただきました。</p>
委員長	<p>最後、事務局から説明がありましたように、各館やっていないわけではありません。充分やっていただいておりますが、事務局がモニタリングに行った際に、パッと見たときに分かりやすかったということですね。また一度北里児童館へご来館いただいた際にご覧いただければと思います。</p> <p>北里児童館のこの項目については、「B」が妥当ということよろしいですか。</p>
	(委員一同 同意)
委員長	<p>次に移りたいと思います。</p> <p>では(3)サービスの質についてはどうでしょうか。ご意見等よろしいですか。</p> <p>私が思ったのは、真ん中の自主事業のところの普段の利用者はもちろんですが、「以前来ていた子ども達がさらにまた来てくれるようになった。」というところが特に良かったと思える点でしたので、「4点」でいいかと思います。よろしいでしょうか。</p>
	(委員一同 同意)
委員長	<p>では、全体を通して所管課からの「A」評価を妥当と認めることにします。後付けの説明になりましたが、所管課評価は「4点」が最高となります。</p> <p>では続いて、大城児童館へ移りたいと思います。</p> <p>(1)、(2)すべてよくだろうということで、「B」という評価が出ておりますが、何かご意見ありますでしょうか。</p>
	(委員より意見・質問等なし)
委員長	<p>よろしいですか。</p> <p>では、(3)サービスの質のところへ行きたいと思います。</p> <p>これについては、先ほどより何度も言っておりますが「一時預かり」については大変いい取り組みだと思えます。昨年の9月より開始しておりますが、地域に大きく貢献しており、預けたいと考える親御さんに対して、「未来館まで来て」ではなく、「ここ(大城児童館)で、こういった場所(一時預かりサービス)がある」と通いなれた場所で提供できるのは、保護者からしたらありがたいと思います。館長からもありましたが、篠岡地区は子どもの人数が減っており、これからの児童館運営に限らずですが、難しい場面に直面していくと思</p>

	<p>われます。そういう意味で小さい子たちを大切にしていきたいと思いますので、所管課の「A」評価は妥当に思えます。</p>
	(委員一同 同意)
委員長	<p>では、同意を得られましたので、所管課評価と同様に評価を「A」としたいと思います。</p> <p>続いて、小牧南児童館資料3-4に移りたいと思います。</p> <p>(1)、(2)の管理面については、概ね良いということで、評価「B」ですがよろしいでしょうか。</p>
	(委員一同 同意)
委員長	<p>では続きまして、(3)サービスの質に行きたいと思います。2項目について大変良いということですが。他の児童館もありましたけど、中・高生だけの利用時間をつくることで(中・高生の)利用促進になっていると思います。</p> <p>モニタリングシート上から4つ目(地域との連携)の「企業との連携」がすごくいいなと思いました。子ども達が専門的・実践的なことを体験できるので、活動の幅が広がっていくので、いいかなと思いました。いかがでしょうか。</p>
副委員長	<p>すごくいい活動だと思います。</p>
委員長	<p>では、これについても所管課の「A」評価にしたいと思います。</p> <p>では続いて資料3-5西部児童館に移りたいと思います。</p> <p>(1)、(2)については、概ね良いということですがどうでしょうか。</p> <p>これも(2)の日常点検についてですが、北里児童館でも言われておりましたが、図面に起こされていて見やすいということで、少し前から言われている「見える化」ができておまして、新規採用職員が入った時にパッと見て分かりやすいというのが大事だなと思いました。これもどの館もやってみえると思いますので、所管課評価は妥当だということよろしいですか。</p>
	(委員一同 同意)
委員長	<p>では(3)サービスの質では3項目について高評価がついておりますが、いかがでしょうか。非常に地域から信頼があるということですが、三ツ渚小学校からどのような資材提供を受けていますか。</p>
西部児童館長	<p>三ツ渚小学校から稲をもらって、児童館でしめ縄作りの体験などをしております。</p>
委員長	<p>先ほどの報告にもありましたけれども、モニタリングシートに記載はありませんが、中学生が卒業しても引き続き児童館に来館してくれるというのも良い点ですし、地域との関連がしっかりと出来ているというのは非常に素晴らしいように思えます。それでは、「A」評価でよろしいでしょうか。</p>
	(委員一同 同意)

委員 長	<p>ありがとうございました。では、所管課評価の「A」とします。</p> <p>それでは、資料3-6小牧児童館に移りたいと思います。</p> <p>(2)について安全対策が4点になっておりますが、特記事項に記載のある、「朝礼時に危機管理マニュアルを職員で読み合わせ」というのは、毎朝職員で読み合わせをしているのか、どれぐらいの量ですか。</p>
小牧児童館 館 長	<p>危機管理マニュアルは、会社が作成した危機管理マニュアルであり、毎朝やっているのはボードに記載された部分を担当者が声に出して読み上げるものになります。量については、マニュアルの内容が多く、1冊が分厚いため、うまく担当者ごとに振り分けをし、日によっては1ページ読み合わせをし、職員間で再確認しております。</p>
委員 長	<p>「声出しして再確認」というのは、危機管理の基本だと思います。なかなか時間のない中でバタバタしてしまうと思いますが、うまく工夫しているように思えます。では、「B」評価でよろしいでしょうか。</p>
	(委員一同 同意)
委員 長	<p>では、(3)サービスの質に移りたいと思います。いかがでしょうか。先ほどご説明にもありましたけれども、小牧小学校や中学校との連携についても工夫しているのが分かりました。</p> <p>質問ですが、文中の中学校は小牧中学校ですか。</p>
小牧児童館 館 長	はい。小牧中学校です。
委員 長	みなくる音楽隊というのは、ブラスバンドか何かがくるような形ですか。
小牧児童館 館 長	<p>職員の中でヴァイオリンや弦楽器を演奏できる者がおりますので、その職員と一緒に音楽に合わせて子ども達が歌を歌うのが中心ですけれども、クラシックとまではいきませんが、そのような発表会を12月に開催予定であり、発表会に向けて職員と地域の方と子ども達が歌の練習をしております。</p>
倉知委員	一つ質問よろしいでしょうか。
委員 長	はい、どうぞ。
倉知委員	「子ども食堂の研究」とありますが、どのようなことをやられているのか。
小牧児童館 館 長	<p>子ども食堂の研究については、小牧児童館のすぐ近くに子ども食堂の活動も行っている「moon」(コリアンテーブル-飲食店)があり、そちらに私が出向いて実際の子どもの食堂の活動のお手伝いをしております。</p> <p>今年度の8月31日に子ども食堂を開催しますが、小牧児童館からは食材提供等はなく実施場所の提供のみで、青空食堂穂の香主催でキッチンカーを用意して行います。</p>
委員 長	実施期間は1日でしょうか。これから毎週やっていく予定だとかはありますか。
小牧児童館 館 長	現時点では、まずは1回目でどのような様子かを見させていただいて、食の

	安全という面も考慮しながら今後も継続できればなと思います。
委員長	以上が研究結果ということでした。 その他質問等よろしいでしょうか。
	(委員一同 なし)
委員長	ありがとうございました。 では、所管課評価は妥当とさせていただきます。 最後ですが資料3-7篠岡児童館に移りたいと思います。 (1)、(2)について妥当であると評価されておりますが、よろしいでしょうか。
	(委員一同 異議なし)
委員長	では、「B」評価が妥当であるとします。 続いて(3)サービスの質についてですが、これも3項目について最高評価がついておりますがいかがでしょうか。 ここは、篠岡小学校と結びつきが強く、昔からずっとうまくやれているということで地域との結びつきが非常に良い点の一つに思えますので、「A」評価でよいかと思います。よろしいでしょうか。
	(委員一同 同意)
委員長	ありがとうございました。 先ほど説明にもありましたようにモニタリングシート1番最後の「運営委員会のコメント」というところについては、今の質疑・ご意見等踏まえて事務局と私の方で書かせていただくということによろしいでしょうか。
	(委員一同 同意)
委員長	ありがとうございます。 ではレジメに戻っていただいて、3に移りたいと思います。 事務局説明をお願いします。
事業推進係 長	まず、はじめに「こまキッズフェスタ2023」ですが、10月21日、22日の2日間に市民まつりが行われますが、10月21日の土曜日に、市民まつりと同時開催ということで、未来館で各館がブース出展をし、「こまキッズフェスタ」という形で催しをさせていただきます。 市民まつりと日程が被る関係で、多くの方に来館していただけるのではないかと期待しております。 なお、当日ですが、各児童館につきましては、支援室のみ開けているという状況での運営となりますので、ご承知おきください。 続きまして、次回児童館運営委員会の予定ですが、令和6年の2月頃にまた開催したいと思います。開催日時等また改めてご連絡いたしますので、よろしくをお願いします。 最後に、参考資料としましてお手元に令和5年度小牧市児童館のしおりを配布しております。各児童館の基本的な情報から、各館で行われているクラブ活

	<p>動や子育て支援室の活動、年間の行事計画などを載せておりますので、またのちほどご覧ください。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。委員の皆様、全体を通してなにかありますでしょうか。ご発言を頂く機会を設けることがなかなかできず申し訳ありませんでした。今後もし質問やご意見等ありましたら事務局までご連絡をお願いします。</p> <p>以上で本会に提出されました議事についてはすべて終了となりますので、進行を事務局へお返しします。</p>
多世代交流プラザ所長	<p>植松委員長ありがとうございました。</p> <p>各館の取り組みについてもこういった場でご説明をさせていただき、各児童館の取り組みについてもPRをさせていただきました。モニタリングの評価につきましても、各館報告のうえ、今回の評価をしていただき誠にありがとうございます。</p> <p>それでは本日の委員会につきまして、これにて終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>